

要件への適合確認書（長寿命型 様式6）記入例

採択された共通ルール（具体的取組内容）は必須条件です。
 具体的取組み内容は全て記入し、対象住宅がこれらの内容に適合していることを確認してください。

<長寿命型 様式6>

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅について申請する場合はシートを追加して作成してください。

要件への適合確認書(交付)【申請者記入用】

・対象住宅の建築主

建築主氏名	◆田 ■郎、◆田 ●子
-------	-------------

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「,」で区切ってください。
 売買契約による住宅の場合は「売買」と記入してください。

・採択された要件の確認(1)～【地域材】

使用する(予定の)地域材	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称
記入不要			

※採択された地域材のうち、対象住宅で使用する(予定の)地域材を記入してください。

(予定のものを入力してください。 ※行が足りない場合は、この様式を複数枚記入してください。)

・採択された要件の確認(2)～【グループの共通ルール】

地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み	共通ルール	◎、○ 記入欄
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与	①地域材利用に関する共通ルール (必須)	記入不要
	②地域材利用の1棟当たりの割合 (必須)	
	③標準的な地域材の使用部位 (必須)	

適用申請書 様式3-3の「4.地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み」欄に記載の共通ルールを記入してください。↑

・対象住宅の要件の確認～【住宅の省エネルギー技術に関する講習】

対象住宅に関わる講習会の修了(予定)者の区分(次のいずれかに「○」)

<input checked="" type="radio"/> (1) 対象住宅の設計	<input type="radio"/> (2) 対象住宅の施工管理者	<input type="radio"/> (3) 対象住宅の大手技師
--	--------------------------------------	-------------------------------------

グループ事務局及び申請事業者の確認

今回、補助金交付申請を行う対象住宅について、上記の要件(共通ルール等)に適合していることを確認いたしました。

グループ事務局担当者名	確認欄	申請事業者代表者名	確認欄
優良 二郎	○	長持 住夫	○

対象住宅について、共通ルール等に適合していることを確認した場合は確認欄に「○」を記入して下さい。

・【三世代加算の場合に記入】三世代同居対応住宅の要件の確認

調理室	浴室	便所	玄関
1	1	3	2

対象住宅に設置する箇所数(0,1,2,3,4等)を記入して下さい。

三世代同居対応住宅の要件については、上記の通りであることを証明します。

資格(1級)建築士 (大臣)知事登録第 999999 号 氏名 ▲岡 ●郎 ▲印
 設計者 事業者 グループ

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H29】長寿命型 要件への適合確認書(交付)

様式3-3の「具
 容」欄と同じよ
 ってください。
 い、誤記、具体
 以外の記載、等
 多いので注意し

適用申請書様式2-1 A
 欄に記載した地域材の
 名称、産地を正確に記
 入してください。

ここに○を必ず
 記入して下さい。
 施工者の参加
 は必須です。

対象住宅について、共
 通ルールが適合してい
 ることを確認した場合
 は確認者と確認欄に
 「○」を記入してくだ
 さい。

省エネ講習会の修
 了者、または修了
 予定者が対象住宅
 に関わる区分に○
 を付けてください。
 区分が決まってい
 ない場合は、関わ
 る予定の区分に○
 を付けてください。

三世代同居対応住
 宅の要件の確認を
 行った建築士の資
 格情報等の記入、
 捺印をして下さい。

▲印

要件の確認を行った建築士
 の所属に○を付けてくださ

使用する様式は正しいですか。
 【H29】長寿命型と記載されてい
 る様式を使用してください。